

備前市事務事業評価表

事務事業名	歴史民俗資料館管理運営事業		コード	03-03-01-02
			担当課・係	生涯学習課 文化係
			担当者	福本浩子
事業実施期間	平成3年～		電話	0869-64-1841
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目(基本施策)	歴史と文化の輝くまちづくり		
	小項目(施策)	文化施設の適正な管理運営		

事業について	
目的 (何のために)	郷土に関する資料の収集・調査・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解や文化財への認識を高め、歴史や文化、文化財を郷土の財産として後世に伝える。
対象 (誰・何を対象に)	備前市の歴史・文化などに興味のある人すべて。
内容	常設展示による備前市の歴史文化の紹介。 テーマを決め、企画展の開催。 資料調査員による情報提供・調査。 備前歴史フォーラムの開催。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
入館者数	1,853 人	2,217 人	
備前歴史フォーラム延参加者数	173 人	184 人	
企画展開催回数	2 回	2 回	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	4,106	国庫補助金等		直接事業費	5,041	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	12,680	委託費負担		人件費	4,340	委託費負担		人件費		委託費負担	
	合計	16,786	一般財源等	16,786	合計	9,381	一般財源等	9,381	合計	0	一般財源等	0

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

必要人員	3.15 人	1.10 人	
結果指標	年間入館者数	年間入館者数	
結果指標量	1,853	2,217	
単位	人	人	
対前年比	-	119.64%	0.00%
活動にかかるコスト	16,786,000 円	9,381,000 円	
単位当たりコスト	9,059 円	4,231 円	
結果指標	備前歴史フォーラム延参加人数	備前歴史フォーラム延参加人数	
結果指標量	173	184	
単位	人	人	
対前年比	-	106.36%	0.00%
活動にかかるコスト	685,820 円	399,000 円	
単位当たりコスト	3,965 円	2,168 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	一人でも多くの人に来館してもらうことで、郷土の歴史・文化に触れて理解や認識を高め文化財を未来に残していく。		
成果指標名	年間入館者数	式又は説明	年間を通した入館者数
	17年度	18年度	
成果指標量	1,853	2,217	
対前年比	-	119.64%	0.00%
到達目標値	2,500	到達目標年度	平成22年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	郷土の歴史や文化がよく理解できるよう常設展示により紹介する。また、常設展示もリニューアルしていき、時代に合わせた展示を行うことが必要である。企画展の開催によって、知られていなかった郷土の歴史や文化の掘り起こしを行っている。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	日常的なものから見直しを行っている。資料館の役割である資料の収集・保存に最適な環境を作っていくことは必要である。企画展については予算が年々カットされてきているので、充実した内容で開催するのが困難になってきているが、企画展を行い文化の掘り起こしを行うことは資料館の重要な役割のひとつなので、今後も行っていく。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	来館者数は増加しているが、さらに常設展示の展示替えを行い、来館者の学習意欲に答える必要がある。また、幅広い世代に対応できるような展示や講座も考えていかなければならない。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値 結果指標量 2,000 結果指標量 2,000	常設展示については、今まで収集してきた資料を中心に展示替えを行い、備前焼や文芸関係等わかりやすい展示を行う。	

総合評価	平成18年度は、岡山県古代吉備文化財センターとの共催事業を行うなど、新たな取り組みも行い、入館者の増加につながった。今後も展示内容の見直し等を行い、利用者にわかりやすく何でも来館したくなるような展示や企画を行っていく必要がある。	評価区分<A~E> B
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他事業と統合を検討する
--------------	---	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	子ども向けの企画展や講座の開催	平成20年度	子どもの来館者の増加。小さい時から郷土の文化に触れる機会を提供できる。